

スマートシティたかまつ推進協議会 令和3年度事業計画



令和3年2月17日

目的（「スマートシティたかまつ推進協議会」規約より）

協議会は、産学民官の連携の下、官民データを共通プラットフォーム上で適正かつ効果的に利活用することによって、高松市の地域課題の解決を図り、いわゆるスマートシティ化によって、活力にあふれ、創造性豊かなまちづくりを実現することを目的とする。

事業（「スマートシティたかまつ推進協議会」規約より）

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| (1)スマートシティ化に向けた実証事業の推進 | (4)成果等の国内外への普及展開 |
| (2)共通プラットフォームの活用の推進 | (5)その他協議会の目的を達成するため必要な事業 |
| (3)実証事業への住民参画の促進 | |

機能

- 総会
- 運営委員会
- ワーキンググループ

運営委員（令和2年度）

協議会会員から選ばれた運営委員

大西 玉喜	四国電力（株）執行役員香川支店長
小澤 孝洋	高松市 総務局 参事
片岡 郁雄	香川大学 理事・副学長
北口 哲也	西日本電信電話(株) 香川支店長
小西 昌伸	(株)百十四銀行 地域創生部長
田口 泰士	(株)STNet 取締役ビジネス営業本部 副本部長
佃 昌道	高松大学 学長
徳永 秀和	香川高等専門学校 機械電子工学科長
船田 晃	日本電気(株) 四国支社長

有識者から選ばれた運営委員

井上 泰一 (株)野村総合研究所 プリンシパル

運営委員会オブザーバー

石丸 須弥子	総務省 四国総合通信局 情報通信部 情報通信振興課長
宮本 典明	経済産業省 四国経済産業局 地域経済部 製造産業・情報政策課長
井下 秀樹	香川県 政策部 情報政策課長

スマートシティたかまつの目指すべき形

人口減少、少子・超高齢社会の今後

人口減少	サービスの多様化
収入 減	支出 増

現状維持
+αのため

一度でたくさんおいしい
仕組みが必要

質の高いサービスを提供するため
分野間連携による効率化

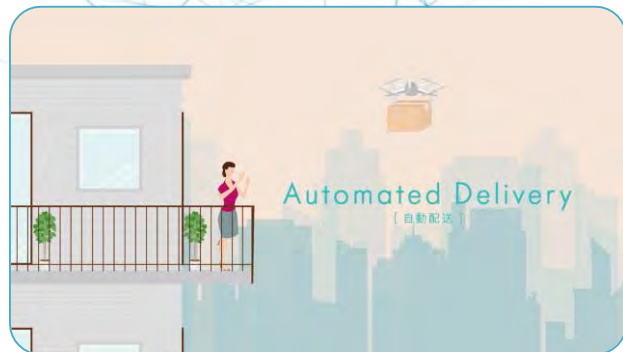
= 政策統合

分野間連携による高度化

交通

×

物流



交通

×

福祉



持続性の
高いサービス
を創出

協議会における中期計画（～2023年）

スマートシティたかまつは持続的に成長し続ける都市づくりに向けて、一度でたくさんおいしい「政策統合型」の持続性の高いサービス創出を目指す。

スマートシティたかまつ推進協議会はこれまで行政主導から協議会主導、民間主導に段階的に移行させるために活動してきたが、民間企業や市民が積極的に自発的な行動を取る状況までには至っていない。本中期計画は、協議会が「民間主導」でスマートシティたかまつにおいて先導する役割を担っていくことを目的とする。

2017年度～2020年度

2021年度

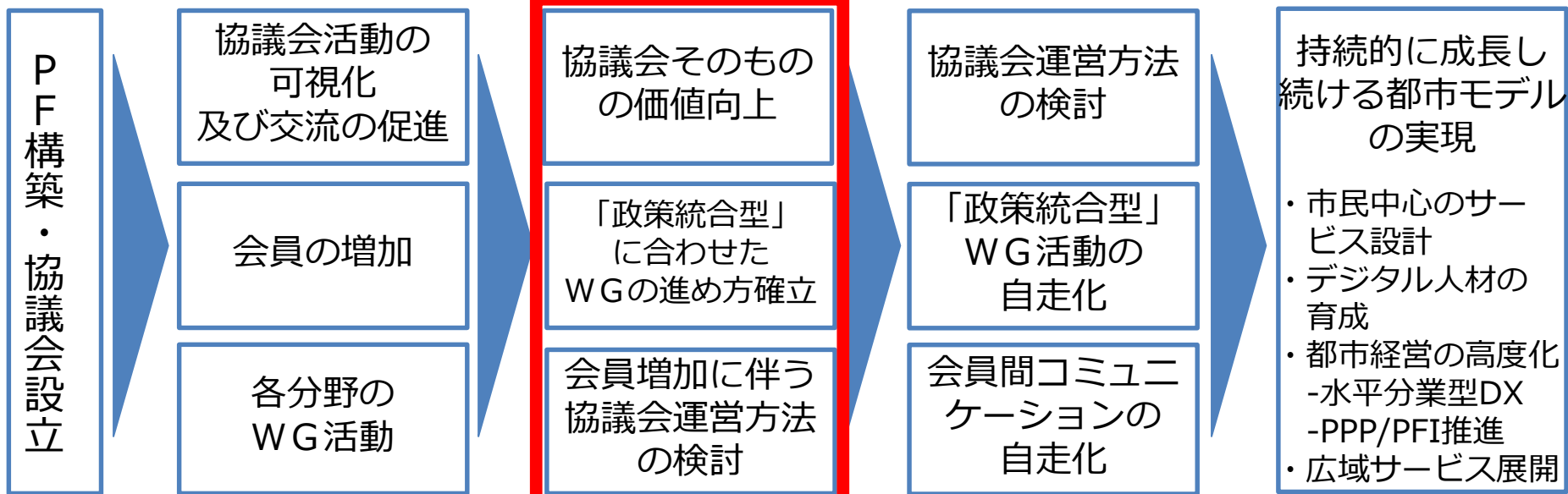
2022年度

2023年度

行政主導

協議会主導

民間主導



2021年度の実施方針

協議会の抱える現状の課題と実施方針

持続的に成長し続ける都市づくりに向けて、スマートシティたかまつ推進協議会の役割も大きく求められる。重要機能であるワーキンググループを「政策統合型」のフレームに合わせて進めることが必要。

協議会の事業	現状の課題	来年度の実施方針
住民参画の促進	自主性の醸成	協議会そのものの価値向上
共通PFの活用推進	<ul style="list-style-type: none"> 参画団体は約100団体に増えた一方で、発生するWGの数が少ない。 市民、会員におけるSCたかまつ及び協議会の理解が不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> デジカン塾の再スタートの検討。 協議会会員の参画意識を向上させるための勉強会等の定期開催。
実証事業の推進	事業化の加速	「政策統合型」に合わせたWGの進め方確立
成果等の国内外への普及展開	<ul style="list-style-type: none"> 横断的な展開が起きない。 フィジカルアーキテクチャ（社会構造）の理解や、整合ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 高松市担当原課より課題認識及び政策についての勉強会の企画検討。 「政策統合型」に合わせたWGの進め方を確立。
その他、目的を達成するため必要な事業	継続性の確保	会員増加に伴う協議会運営方法の検討
	<ul style="list-style-type: none"> 会員間コミュニケーションができる仕組みがない。 約100団体の会員を管理、運営するには現状の規約では不十分。 	<ul style="list-style-type: none"> 協議会会員間のコミュニケーションツールの利用検討。 協議会運営方法の検討。 経済団体等との連携。

今後スケジュール 及び その他報告事項

今後のスケジュール

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
総会											▼ 総会	
運営委員会		▼ 第15回			▼ 第16回			▼ 第17回		▼ 第18回		
勉強会等			▼ 勉強会		▼ 勉強会		▼ 勉強会			▼ FIWAREハンズオン (全3回)		
デジカン塾			状況を見ながら再開時期を検討									
人材育成					▼ 人材育成講座 第1弾		▼ 人材育成講座 第2弾			▼ 人材育成講座 第3弾		
			← KIDSプログラミングコンテスト →									
次期スマートシティ たかまつ推進プラン(仮称)策定			→ 調査・骨子作成			→ 施策の検討、調整				→ 素案整合		→
			← 協議会会員から意見聴取									→ パブリック コメント

人材育成講座の流れ

スマートシティたかまつ推進協議会の人材育成環境WGで人材育成講座について検討する。

地域課題の発掘



【講座1】
かがわeかみしばい
コンテスト2021 (仮称)

課題解決に 有用なデータの検討



【講座2】
まちのデータ研究室
for Local Governments and
Local Companies (仮称)

将来のスマートシティ事業 を担う人材の養成



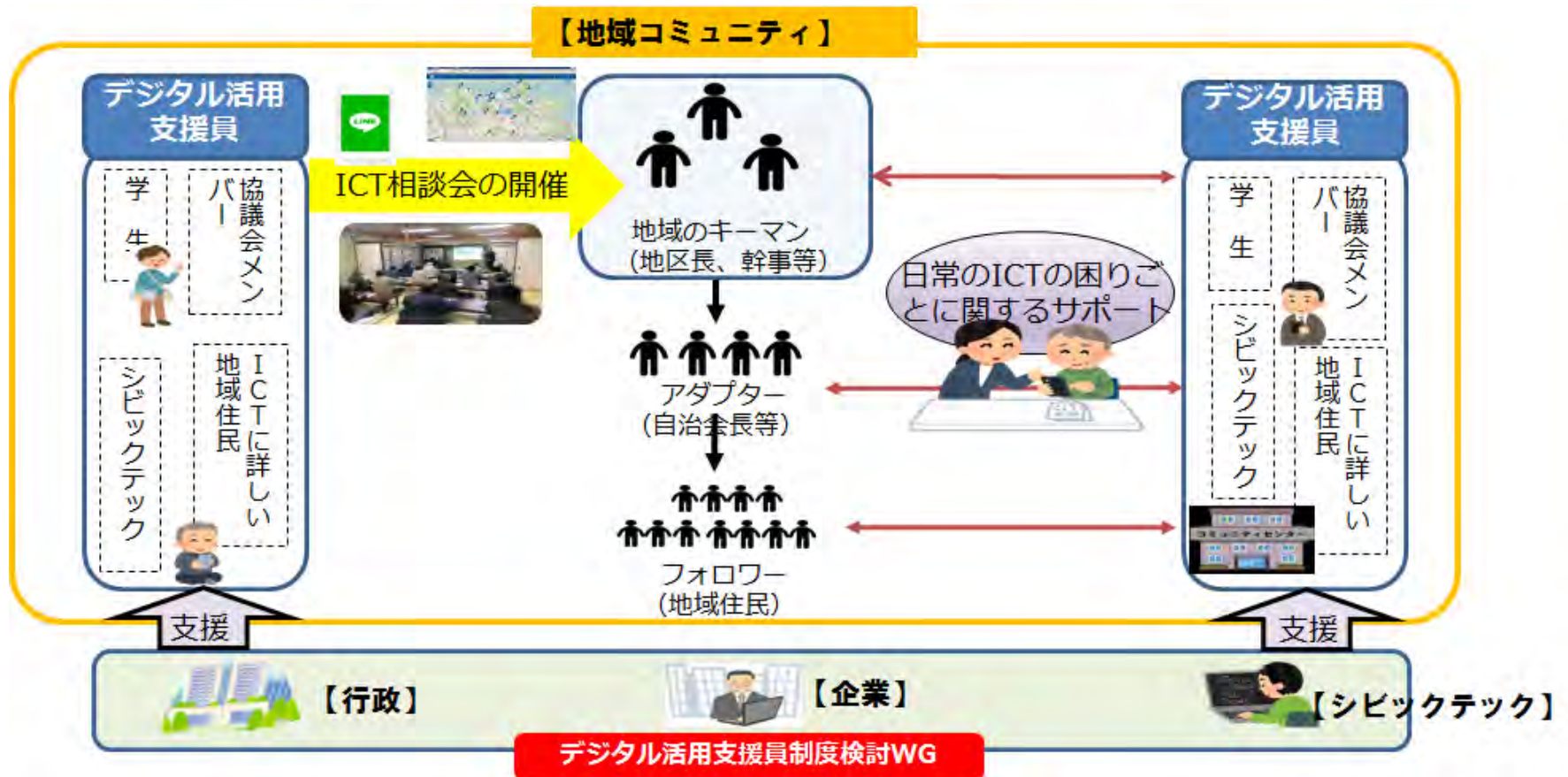
【講座3】
Web×IoTメイカーズ
チャレンジfor Students
(仮称)

各講座でIoT共通プラットフォームを活用 ⇒ 各講座で得られたデータを連携

本市の地域課題解決につながるアイデア等を創出し、実証事業や社会実装につなげていける人材育成講座について、産学官連携し、実施する。

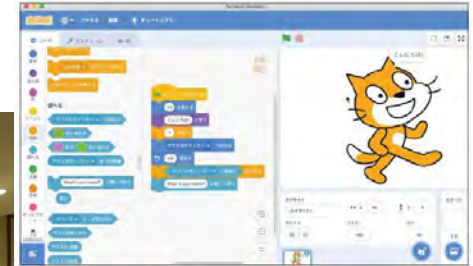
デジタルデバイス対策の取組

高齢者等、ICTを十分活用できていない人が、地域の身近な人から学べる「デジタル活用支援員」体制の構築に向け、スマートシティたかまつ推進協議会のデジタル活用支援員制度検討WGで検討、実証を進める。



KIDSプログラミングコンテストの開催

ICTが日々進展していく中、それらを扱う人材の発掘・育成の取組の一環として、本市在住の小学生を対象としたプログラミングコンテストを開催する。



2020 December 6

21世紀を創るのは、君たちだ。

TECH KIDS GRAND PRIX



小学生のためのプログラミングコンテスト
TECH KIDS GRAND PRIX

and more...

※Tech Kids Grand Prix 2020と同時開催するプログラミングコンテスト

新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催を中止しているが、今後の状況をみながら、開催時期を再検討。

スマートシティたかまつ デジカン塾の開催中止のお知らせ

更新日：2020年4月20日

4月16日(木)に緊急事態宣言が全国に拡大されたことに伴いまして、開催を予定しておりました「スマートシティたかまつ デジカン塾」につきましては、現時点で開催の判断が難しく、当面の間、開催を見合わせることにいたしました。

開催の時期が決まりましたら、改めてホームページ等でお知らせさせて頂く予定です。

参加を予定されていた皆様方にはご迷惑をお掛けいたしますこと、深くお詫び申し上げます。どうかご理解賜りますようお願い申し上げます。

高松市では、ICT・データの活用と産学民官の多様な主体との連携により、様々な地域課題を解決し、持続的に成長し続ける「スマートシティたかまつ」の実現に向けた取組を推進しています。

この度、その取組の一環として、スマートシティたかまつ推進協議会主催で、デジタル人材の発掘、育成に向けた、最新テクノロジーに関するセミナー「スマートシティたかまつ デジカン塾」を開講します。

プログラムの詳細、お申込み等につきましては、スマートシティたかまつ推進協議会のFacebookページをご覧ください。

<https://www.facebook.com/smarttakamatsu/> (外部サイト)

★★「デジカン塾」とは？★★

デジタルに関する勉強会やセミナーを行うカンファレンスルームの略で、また、**カン**には、缶詰のように**知識を詰め込む**という意味が込められています。



スーパーシティについて



スーパーシティ構想イメージ(案)

新しい時代の「ひと」を育みつづける フリーアドレス都市 たかまつ

～行きたいところへ行こう。そこで「FACT」を見つけよう。～

“FACT” Free Address City Takamatsu

まち全体をフリーアドレス化。
世代、肩書き、文化・・・すべてを超えて、
このまちに住む「ひと」が「ひと」を想うことで
みんなが、生きがいを感じてつながるまちへ。
スーパーシティで事実にしていく。

「ひと」であるわたしたちが社会を持続していくためには、
アナログな経験・交流・学び=FACTが必要。
デジタルをツールに主体的な行動を生み出し、
偶発的な「出会い」「発見」「交流」の連鎖が、
様々な分野のイノベーションのたねを芽吹かせる。

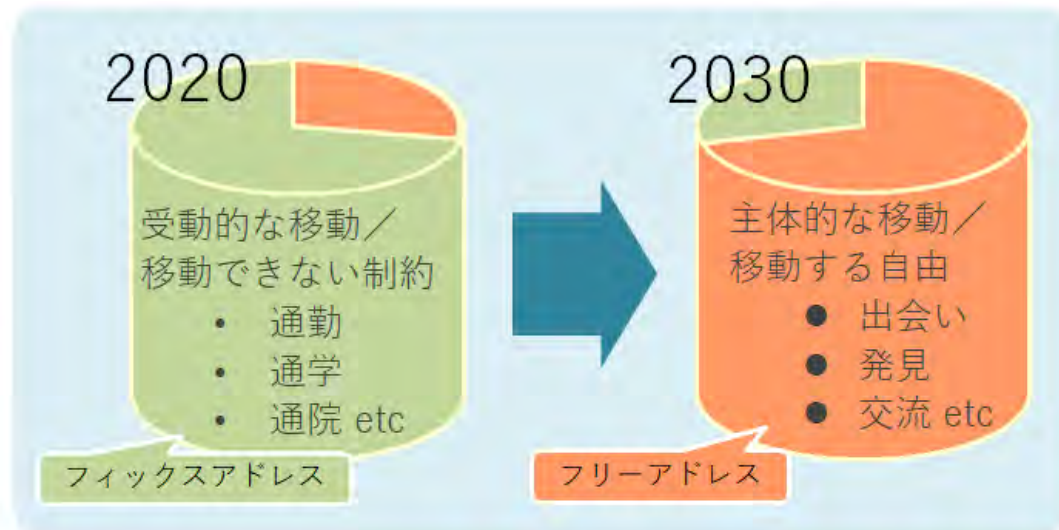
FACT(フリーアドレス都市たかまつ) の概要

フリーアドレス都市とは

人口減少、少子・超高齢社会の深刻化による「地域課題の担い手不足」、
「労働力・所得維持のための共働き世帯の増加」、
「世代間交流等の機会や個人の自由時間の減少」などの課題の顕在化と、それに伴う**社会の窮屈感**に対し、
固定化された「時間」や「場所」(フィックスアドレス)を開放することで、**都市の生産性を向上させながら、人間らしく生活するための必要な交流や時間を生み出す都市。**

フリーアドレス都市の目指し方

住民や地域、企業などの悩みごとや希望に対し、データの連携等で、**時間・場所の制約を取り払う取組を多様な主体が企画・実施**するとともに、**社会の現状を「見える化」**して、さらなる**住民の主体的な移動を可能**にする。



スマートシティたかまつの取組から学んだ知見を活用し、
デジタルが目的化しない体制を構築



スーパーシティイメージ図

働き方

セキュアに統合されたネットワーク環境の中で、業種やオフィスの制約を超えてどこでもテレワークができる
“お仕事FACT-ory”

- テレワークを可能にするソリューションの発掘
- テレワーク環境の管理・充実
- 新規・遊休人材の開拓・発掘と将来人材の育成

学び・子育て

学童保育や学習塾等と地域資源をデジタルで統合し、市全体をフィールドにこどもの学びを拡充。非認知能力を育む“放課後FACT-ory”

- GIGAスクール構想を基礎とした横断的展開の推進と、世代・業種・文化などの交流を集積
- DX人材育成の推進

医療・介護

普段の健康管理は家に居ながら遠隔医療、データからのレコメンドを基に積極的介護予防を自分で選択できる“健康FACT-ory”

- 健康情報を一元管理し、健康につながるライフスタイルへ誘導
- 医療体制及び効率の最適化
- 保険適用や行政支援との連動

行政

- 「行かぬい、待たぬい、書かぬい」行政サービスのデジタル化
- 公的給付をデジタル化・使途限定化する Colored Coin

その他

- 色んな分野で無限の“FACT-ory”を…
- 様々な提案を大募集！

買い物

データ連携による様々なグループ内の“ニーズシェアリング”で日々の買い物を楽に、お得にする“買い物FACT-ory”

- 需用の見える化と供給の最適化
- 市民の健康、人的交流に寄与する買い物環境の充実
- 民間ビジネスモデルと、行政の課題解決のマッチングに繋がる仕組みの発掘

移動・環境

各分野への移動を支える、持続性の高い交通サービスの提供とデータ連携の推進

安全・安心

生命・財産の安全・安心確保のためのデータ連携基盤の設計・構築と利用推進

FACT

Free Address City
Takamatsu

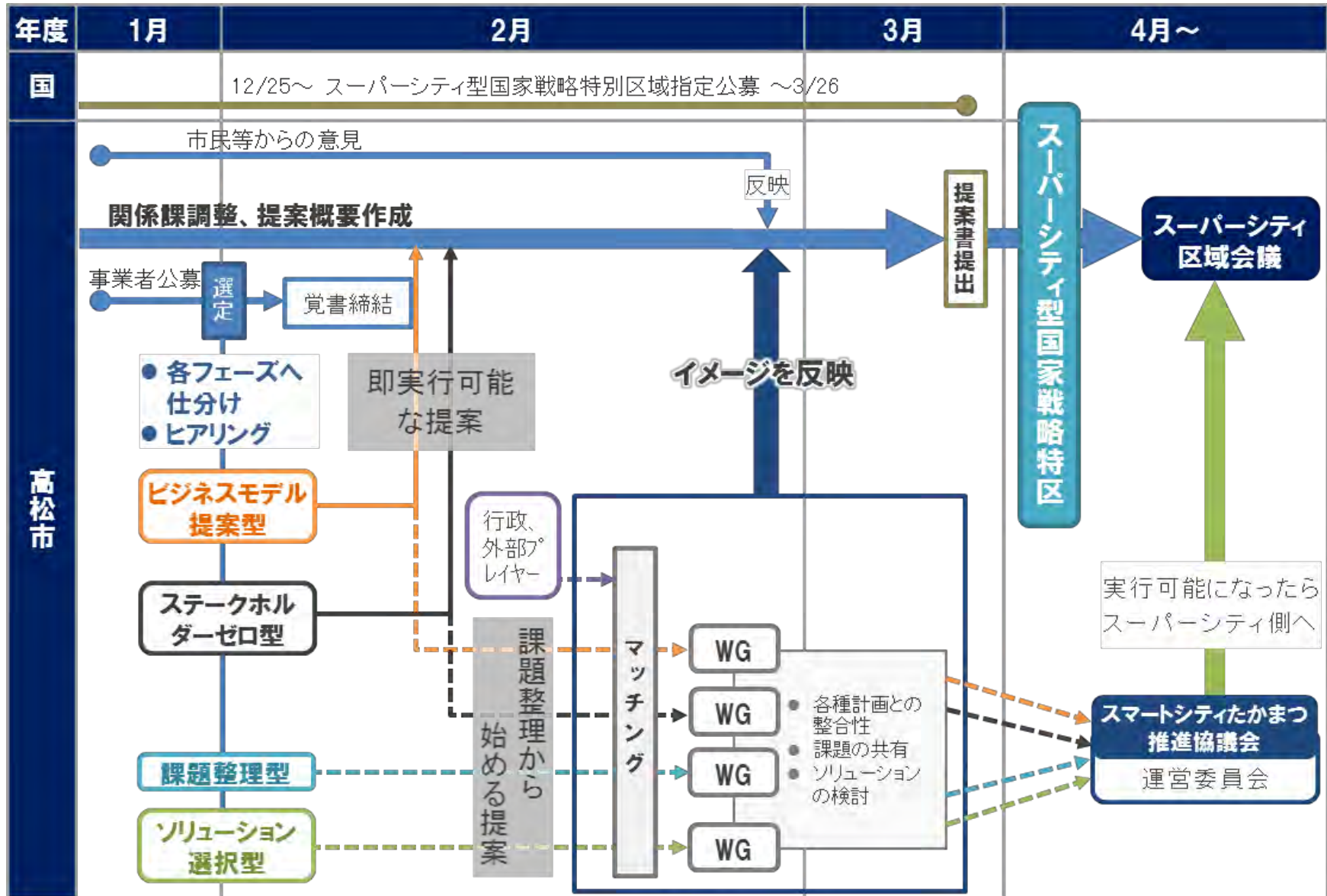
公募により選定した主要な事業者の候補と連携しながら、各分野の提案について検討を実施中。

取組想定分野

- データ連携基盤
- 自動運転物流
- ダイナミックプライシング・モビリティ
- 都市型MaaS
- 買物FACT-ory
- 男木女木スマートアイランド
- 健康医療介護
- ゼロカーボン環境
- 防災
- 教育

※検討過程において変更・新設・中止となる可能性有

スケジュール



今後の進め方のイメージ



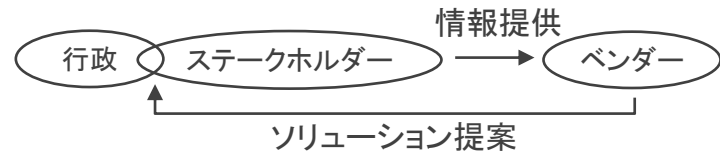
あなたとつながるまちへ。
SMART CITY
スマートシティたかまつ

課題整理型

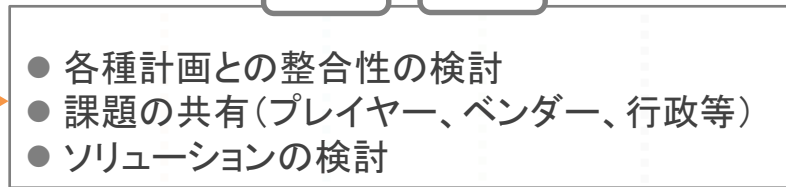


- アーキテクチャの整理から共に進める
- WGから整理

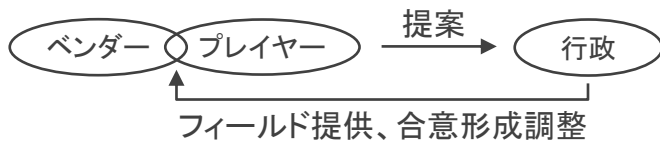
ソリューション選択型



- アーキテクチャの整理は終了
- ツールを選択するフェーズ



ビジネスモデル提案型



- ベンダーとプレイヤーがソリューションを提示
- 行政の課題解決に寄与する場合
⇒フィールド提供・合意形成に協力

ステークホルダーゼロ型



- 出来るところから、どんどん進めていく



たかまつ アイデアFACTORY

みんなが、このまちをよくすることを
シンプルに考えられるように。

みんなの「いいね!」は、そのまままちの声に!
新しい時代の「まちづくりの?」は、高松から。

建前、縦割り――

そんなものから高松がDAPPY(脱皮)するための65日間!

さあ、*Start DAPPY!*

2021.1.25 - 3.31



たかまつ アイデアFACTORY とは？

地方自治体初！！

市民参加型 アイデア募集プラットフォームです！

投稿したアイデアや意見について、市民同士で対話ができるシステム

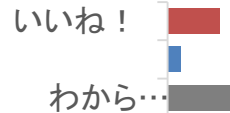


テレワークって
〇〇だよね！

 たかまつ アイデアFACTORY

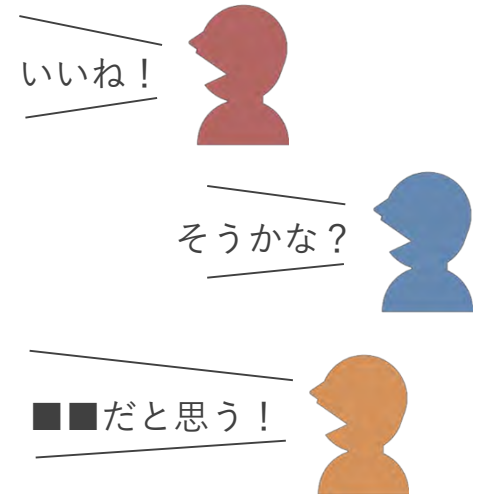
テレワークって〇〇だよね！

投票結果



■■だと思っ！

意見の可視化



2020年10月より政府が運用開始した「デジタル改革アイデアボックス」と同じ、「アイデアボックス（株）自動処理 提供」の仕組みを活用

第1弾募集テーマ

高松市のデジタル化やスマートシティ

- デジタル社会（スマートシティたかまつの取組）への期待
- 「フリーアドレス都市」イメージへの提案
- 誰一人取り残さないデジタル化
- ICTやデジタル化に向けたアイデア

【実施期間】

などなど……

2021年1月25日(月)～3月31日(水)

※2021年1月22日(金)よりプレオープン

